

報告

台風9号に伴う 漂流ゴミ回収

8月10日に四国の南海上を通過した台風9号に伴う豪雨により、河川から大量の草(芦や竹)、流木、不法投棄と思われる粗大ゴミが、海上へ流出しました。

海面を漂うゴミは、放置していると海岸への漂着ゴミとなって環境に悪影響を及ぼします。また、流木などの大型浮遊ゴミは、航行船舶の障害にもなり、海難事故にも繋がりがかねません。

今回の台風では、小松島、高松、松山の各港湾事務所の海洋環境整備船が出動しました。小松島の海面清掃船「みずき」も播磨灘南部、紀伊水道西部で作業を行い、約1週間で400m3を超える漂流ゴミを回収しました。

(4トントラック換算で約50台分)

今後も、海洋環境の保全や航行船舶の安全確保に取り組んでいきます。



告知

「空の日」イベント 徳島空港 開催日 9/27

「空の日」「空の旬間」には、全国の空港で色々なイベントが開催されます。ネーミングの謂われは戦後、民間航空が再開して40周年にあたる平成4年(1992年)から、より多くの方々に航空に対する理解と関心を高めていただくため、9月20日を「航空日」から「空の日」に、また9月20日～30日を「空の旬間」としたそうです。

徳島空港でも「空の日」を記念したイベントが毎年開催されています。当事務所も9月27日に空港拡張工事のパネル展示などを行う予定です。この機会に普段は立ち入りの出来ない空港内を見学し、空港の凄さと、空港整備事業の重要性を感じて頂ければと思います。

主催：徳島空港「空の日」・「空の旬間」実行委員会



読者のみなさん、こんにちは。事務所長の河西です。

9月1日は「防災の日」です。これは、関東大震災の発生日に因んで制定されたもので、災害への備えを怠らないようにとの戒めが込められており、この日の前後に毎年各地で防災訓練が行われています。四国地方整備局においても9月2日、南海・東南海地震の発生に備えた「四国地方整備局総合防災訓練」を行いました。四国全域で震度6弱～6強、大津波警報発令、といった想定です。このような大規模地震災害の発生時においては、港湾の果たす役割が非常に大きく、緊急物資の輸送や被災後の安定的な海上輸送の確保等、「安全・安心な四国の実現」において、なくてはならない社会基盤となっています。このため、耐震強化岸壁を中心とした施設点検や被災状況の把握、応急復旧のための訓練を重点的に実施しました。最悪の状態を想定した訓練を積み重ねる事が防災業務としてなによりも重要な事だと思えます。

当事務所においては現在、徳島小松島港での「安全・安心な四国の実現」のための耐震強化岸壁の整備とともに、「活力ある四国の実現」と「豊かな環境と暮らしの実現」を政策目標として、多目的国際ターミナルや複合一貫輸送ターミナル(フェリー岸壁)の整備を進めています。船舶の大型化等に対応した港湾機能強化による物流コストの削減や、モデルシフトの推進による環境負荷の軽減を図ります。国内あるいは海外との広域ネットワークを形成するこれらの港湾施設について、早期にその効果を発揮できるよう、着実に事業を推進して行きたいと思えます。

小松島港湾・空港整備事務所長 河西 博



出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所 TEL (0885)-32-3357

ホームページ 「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。